

だて復興・再生 ニュース

伊達市

第 8 号

[編集・発行] 伊達市放射能対策課 〒960-0692 伊達市保原町字舟橋180 本庁舎3階 ☎575-1003

●平成25年11月28日発行

個人別被ばく管理の重要性とガラスバッジ

最近、国は市民の健康を守るうえでの被ばく管理基準は空間線量ではなく、個人ごとの累積被ばく線量とする、との方針を改めて発表しました。

これまでも、国は「個人の追加被ばく限度を、長期的には年間1ミリシーベルトを目標とする」とし、それを達成するには空間線量に換算すると、1時間あたり0.23マイクロシーベルトであると説明してきました。

そのため、本来のガラスバッジによる累積線量ではなく、より測定しやすく、すぐ数値が確認できる空間線量の数値が一人歩きし、長期的目標である1ミリシーベルトに相当する「0.23マイクロシーベルト」が安全安心の目標のようになってしまい、「それ以下まで除染しなければ、帰還はできない。安心できない」などと受け取られてしまっているのが現実でした。

伊達市は当初から、個人の累積被ばくが問題で、そのため生活圏の線量を下げることが必要であると考えておりましたので、線量の高いところから除染を実施すると共に、線量の高い地域の人と子ども達にはガラスバッジを着けてもらいました。

しかし、除染によって生活空間の線量が低減されても、その家の住人の累積被ばく線量が下がらない可能性、例えば、その人が線量の高いところで働いていて当該住宅の空間線量からは想定できない高い累積被ばくがある可能性も想定しましたので、昨年7月より今年6月までの1年間、市民全員にガラスバッジを着けてもらったところです。

そのデータを分析した結果、伊達市全体としても心配な数値ではないことはもちろん、空間線量が0.5マイクロシーベルト程度であっても個人の累積被ばく線量は年間1ミリシーベルトを超えないこと、つまり0.23マイクロシーベルトの2倍以上の線量があっても目標は達成できているということが分かりました。

これは重要な事実です。今回、伊達市が得た実証データは、チェルノブイリでの計算と一致しており、データの理論的根拠として正しさが証明されたところですが、これは、わが国の計算が間違っているということではなく、日本は安全サイドで計算の想定を行ったと言うべきなのでしょう。

ともあれ、現在Cエリアではモニタリング及び除染が進められていますが、1年間のガラスバッジの測定結果を改めて検証し、累積被ばく線量がおおむね1ミリシーベルト未満であったことを確認しておりますのでご安心下さい。

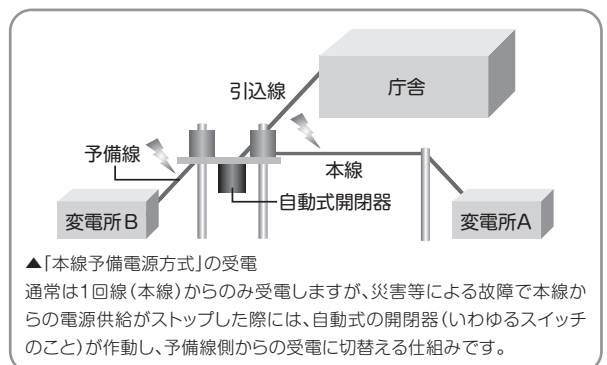
伊達市長 仁志田 昇司

だて
復興・再生
最前線

大規模災害に備えた業務継続対策 本庁舎と保健センターの受電設備を改修

東日本大震災の発生以降、全国の様々な施設で、大規模災害に備えたBCP対策（業務継続対策）の一環として発電設備やバックアップ電源の増設、太陽光発電の導入など、非常時でも安定した電源供給を確保するための方策が検討されています。

本市では、東日本大震災クラスの大規模災害で、一定地域が長期間にわたり停電となるような場合でも、市の行政業務が継続できるよう、災害発生時に災害対策本部となる市役所本庁舎と保原保健センターの受電設備を、異なる2つの変電所系統からの電源供給を可能とする「本線予備電源方式」に改修しました。



外部被ばく線量年間実測値の分析結果について

市では現在、全市民を対象としたガラスバッジ測定(平成24年7月～平成25年6月までの1年間)結果データの集計・分析を進めています。

今回は、基本集計や空間線量率と実効線量の相関等について、お知らせします。

I 基本集計

対象者及び実施期間

- 対象者／52,783人(全市民のうち、1年間継続して測定した人)
- 基準日／平成25年10月1日(全体の約81.2%)
- 実施期間／平成24年7月～平成25年6月(3ヶ月毎に4回測定)

1 市民全体の年間被ばく線量

1) 市民全体の年間被ばく線量の平均値

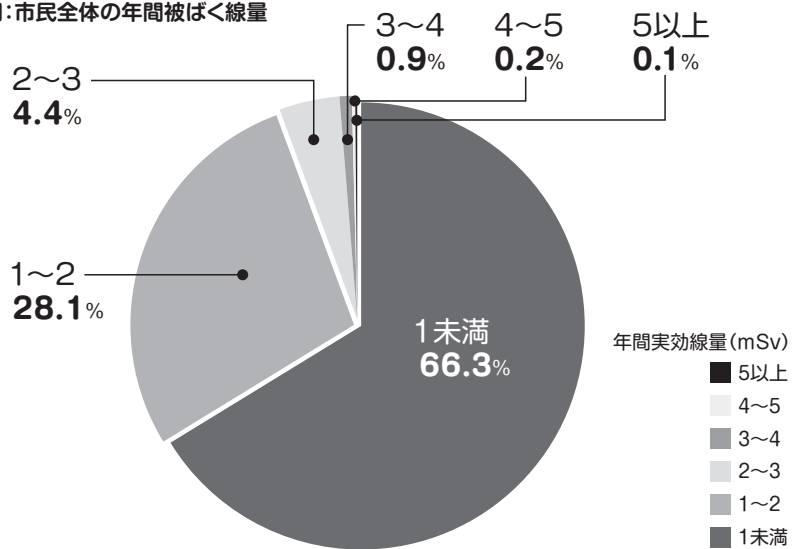
0.89mSv (ミリシーベルト)

2) 市民全体の年間被ばく線量(分布)

線量区分では、年間1mSv未満が66.3%と最も多く、次いで1mSv～2mSv未満が28.1%、2mSv～3mSv未満は4.4%となりました。

- 実効線量…ガラスバッジ測定の実測値
- 年間被ばく線量…1年間の実効線量

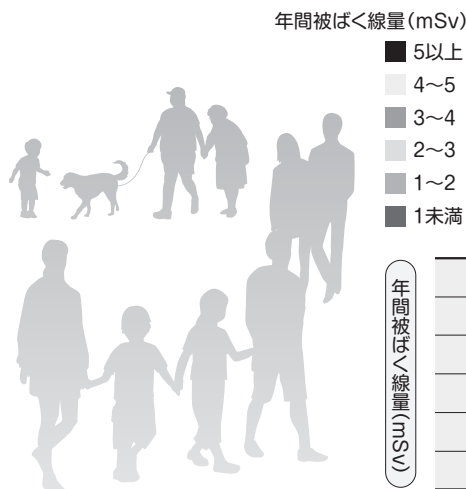
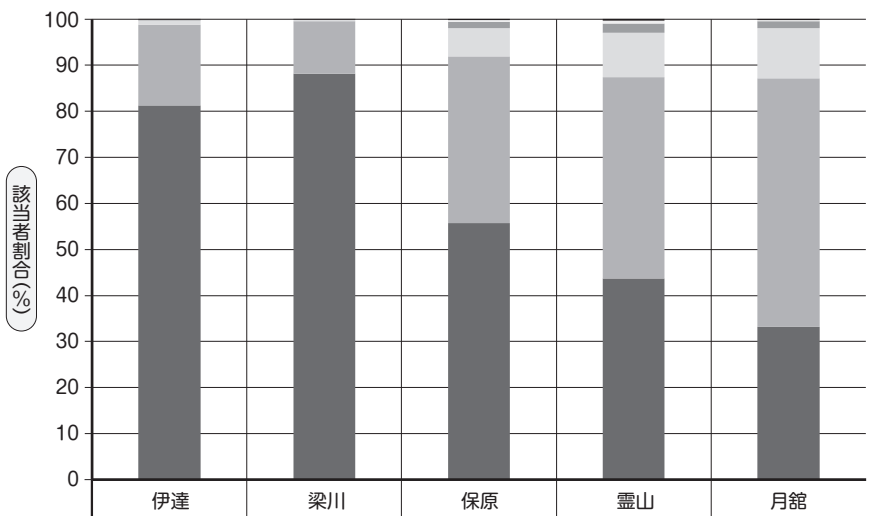
●図：市民全体の年間被ばく線量



2 地域毎の年間被ばく線量(分布)

地域毎での年間被ばく線量の分布から、1mSv未満の割合が最も多いのは梁川地域で88.2%でした。最も少ない月舘地域では33.2%でした。

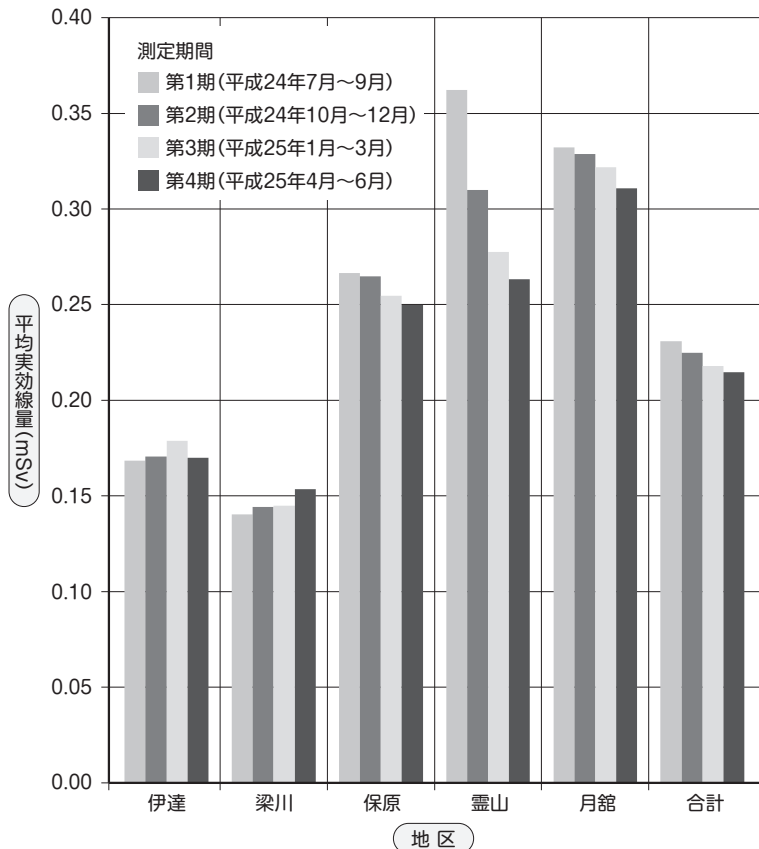
●図：地域毎の年間被ばく線量(分布)



3 地域毎の測定期間(3ヶ月間)毎の実効線量の推移

1年間(4回測定)の推移について、保原、霊山、月舘地域で減少傾向が確認できます。これは自然減衰等だけでなく、除染による効果も考えられます。

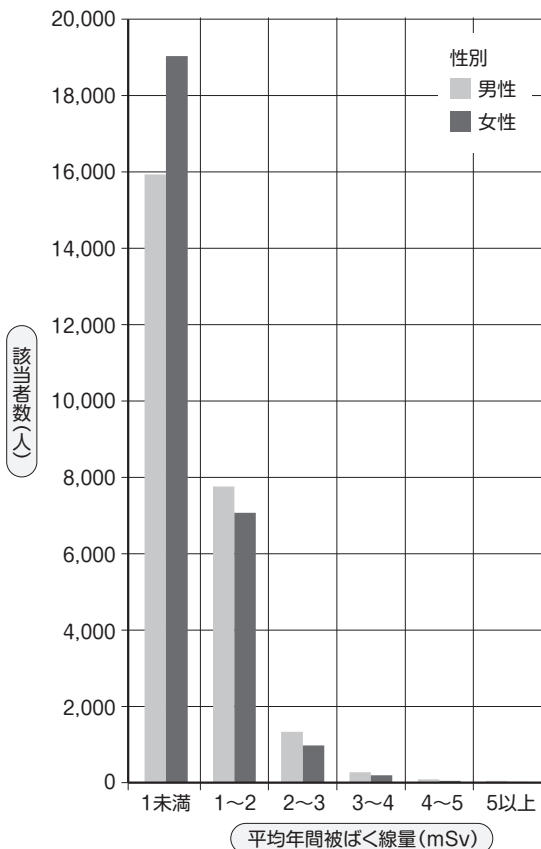
●図:地域毎の測定期間(3ヶ月間)毎の実効線量の推移



4 男女の年間被ばく線量区分(分布)

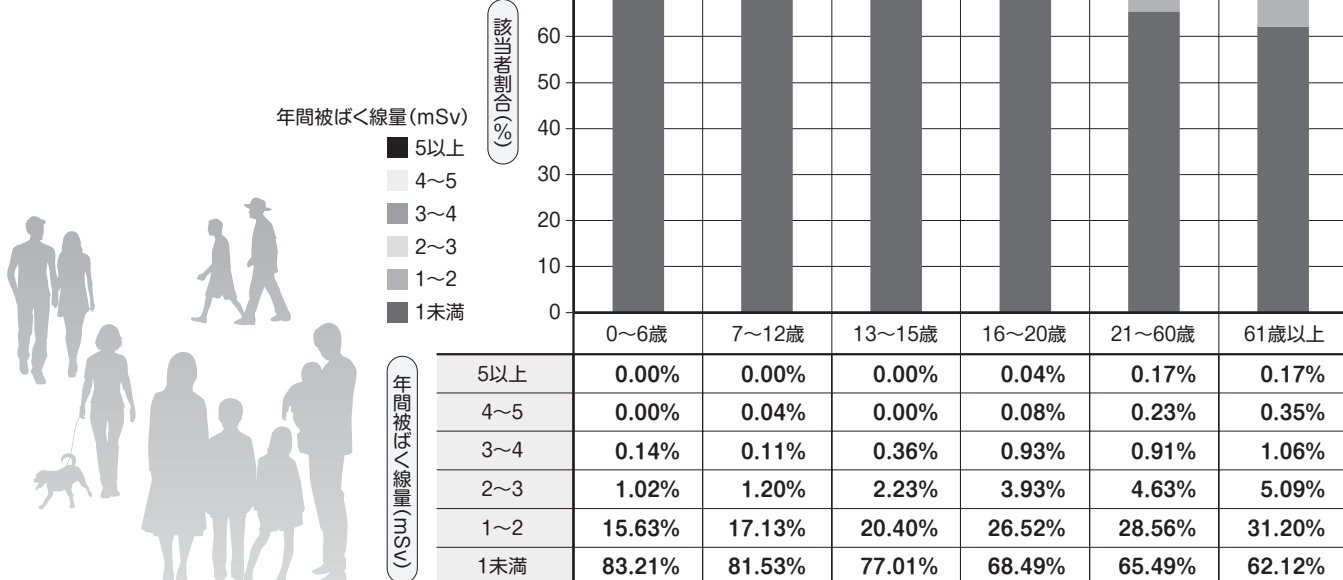
男女比では、1mSv以下では女性が多く、1mSv以上は男性が多い傾向にあります。

●図:男女の年間被ばく線量区分(分布)



5 年齢毎の年間被ばく線量(分布)

年齢比では、子ども層は1mSv未満の割合が高いことが確認できます。これは職業や屋外活動時間、行動範囲に関係があると考えられます。



Ⅱ 「空間線量率と実効線量の相関」についての分析

1 分析方法

大字単位毎に次の①～③を集計・分析し、空間線量率と実効線量との相関を求めた。

①平均空間線量率(μSv/h) (小数第4位を四捨五入)

伊達市一斉放射線量測定値(注1)第4回～第7回(平成24年7月～平成25年7月)までの4回測定及び大字単位の測定ポイントの平均値。

②予測年間追加被ばく線量(mSv) = 『予測値』(小数第4位を四捨五入)

国が示した計算式(注2)に上記①(平均空間線量率)を使用し、計算した予測年間追加被ばく線量値。

③市民の年間追加被ばく線量の実測値 = 『実測値』(小数第4位を四捨五入)

全市民を対象としたガラスバッジ測定(平成24年7月～平成25年6月)の実測値の平均値。

<補足説明>

(注1)伊達市一斉放射線量測定値

市域を1kmメッシュ(市街地は500mメッシュ)に分け、主に道路路肩の地表から1mの高さで測定した空間線量率の値。

(注2)国が示した年間被ばく線量を予測するための計算式

$$\text{予測年間追加被ばく線量 (mSv)} = \frac{\text{空間線量率} (\mu\text{Sv/h}) \times (8h + 16h \times 0.4) \times 365 (\text{日})}{1000}$$

↳上記①平均空間線量率から自然由来の放射線0.04μSv/hを差し引いた値。

2 分析結果(その1)

市全域(平均)から、国が示す予測値より、ガラスバッジ測定実測値による年間追加被ばく線量は少ないことが確認できました。

(1)平均空間線量率が0.23μSv/hの地区(白根、山舟生)

では、予測値1mSvに対し、実測値では0.521～0.572mSvとなりました。

また、実測値で約1mSvとなる地区(大立目、金原田、上保原、中川)での平均空間線量率は0.36～0.513μSvとなりました。(表1)

(2)予測値と実測値の差は、空間線量率が低い地区ほど小さく、高い地区ほど大きくなることが確認できました。(次ページ:図1)

●表1: 予測値と実測値の年間追加被ばく線量一覧

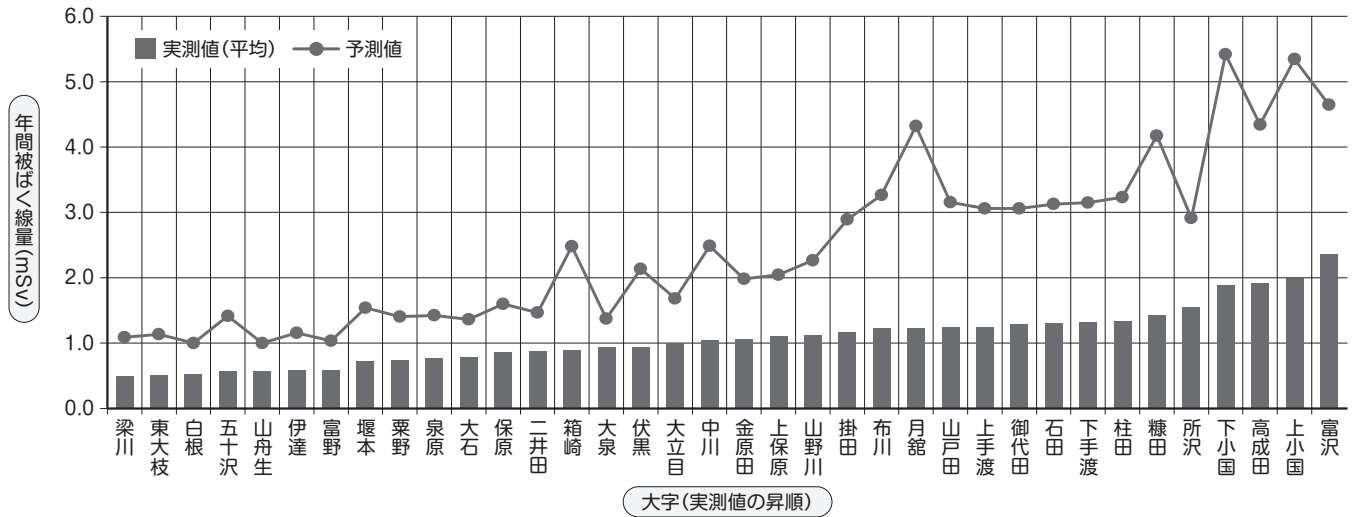
(実測値の昇順)

大字単位	平均空間線量率 (μSv/h) (伊達市一斉 放射線量測定)	予測値 (mSv) A (国が示した計算式 からの予測値)	実測値 (mSv) B (ガラスバッジ測定 1年間の実測値)	実測値 予測値 (B/A)
梁川	0.247	1.088	0.499	45.9%
東大枝	0.256	1.135	0.505	44.5%
白根	0.230	0.999	0.521	52.2%
五十沢	0.309	1.414	0.567	40.1%
山舟生	0.230	0.999	0.572	57.3%
伊達	0.260	1.156	0.582	50.3%
富野	0.237	1.035	0.586	56.6%
堰本	0.333	1.540	0.726	47.1%
粟野	0.307	1.403	0.743	53.0%
泉原	0.311	1.424	0.769	54.0%
大石	0.299	1.361	0.788	57.9%
保原	0.344	1.598	0.855	53.5%
二井田	0.319	1.466	0.882	60.2%
箱崎	0.512	2.481	0.896	36.1%
大泉	0.301	1.372	0.941	68.6%
伏黒	0.446	2.134	0.941	44.1%
大立目	0.360	1.682	1.002	59.6%
中川	0.513	2.486	1.050	42.2%
金原田	0.417	1.982	1.065	53.7%

(実測値の昇順)

大字単位	平均空間線量率 (μSv/h) (伊達市一斉 放射線量測定)	予測値 (mSv) A (国が示した計算式 からの予測値)	実測値 (mSv) B (ガラスバッジ測定 1年間の実測値)	実測値 予測値 (B/A)
上保原	0.429	2.045	1.106	54.1%
山野川	0.471	2.265	1.129	49.8%
掛田	0.590	2.891	1.166	40.3%
布川	0.661	3.264	1.233	37.8%
月舘	0.862	4.320	1.234	28.6%
山戸田	0.640	3.154	1.242	39.4%
上手渡	0.622	3.059	1.248	40.8%
御代田	0.622	3.059	1.293	42.3%
石田	0.635	3.127	1.302	41.6%
下手渡	0.639	3.148	1.323	42.0%
柱田	0.655	3.232	1.339	41.4%
糠田	0.834	4.173	1.433	34.3%
所沢	0.594	2.912	1.550	53.2%
下小国	1.071	5.419	1.893	34.9%
高成田	0.866	4.341	1.916	44.1%
上小国	1.057	5.345	1.996	37.3%
富沢	0.924	4.646	2.368	51.0%
全体	0.510	2.470	0.888	36.0%

●図1: 予測値と実測値の年間追加被ばく線量



3 分析結果(その2)

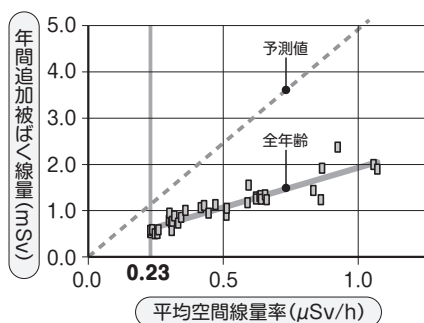
年間追加被ばく線量の予測値と実測値との相関を年齢区分でみると、全年齢と比較して、0歳～15歳は低く、60歳以上が少し高い傾向となることが確認できました。(表2、図2～4)

●表2: 予測値と実測値の年間追加被ばく線量一覧

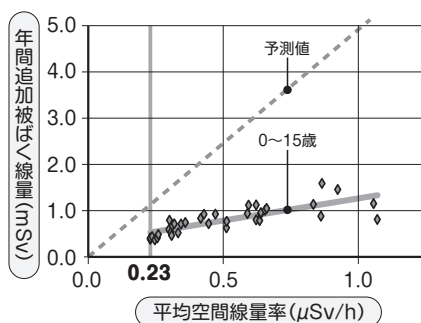
大字単位	平均空間線量率 ($\mu\text{Sv}/\text{h}$) (伊達市一斉 放射線量測定)	予測値 (mSv) A (国が示した計算式 からの予測値)	実測値(mSv) B (ガラスバッジ測定1年間の実測値)		
			全年齢 (図2)	0～15歳 (図3)	60歳以上 (図4)
白根	0.230	0.999	0.521	0.377	0.537
山舟生	0.230	0.999	0.572	0.407	0.591
富野	0.237	1.035	0.586	0.435	0.619
梁川	0.247	1.088	0.499	0.364	0.531
東大枝	0.256	1.135	0.505	0.406	0.536
伊達	0.260	1.156	0.582	0.482	0.617
大石	0.299	1.361	0.788	0.587	0.784
大泉	0.301	1.372	0.941	0.792	0.967
栗野	0.307	1.403	0.743	0.535	0.790
五十沢	0.309	1.414	0.567	0.459	0.587
泉原	0.311	1.424	0.769	0.675	0.783
二井田	0.319	1.466	0.882	0.713	0.955
堰本	0.333	1.540	0.726	0.519	0.793
保原	0.344	1.598	0.855	0.710	0.935
大立目	0.360	1.682	1.002	0.743	0.988
金原田	0.417	1.982	1.065	0.831	1.124
上保原	0.429	2.045	1.106	0.919	1.168
伏黒	0.446	2.134	0.941	0.716	1.024
山野川	0.471	2.265	1.129	0.923	1.184

大字単位	平均空間線量率 ($\mu\text{Sv}/\text{h}$) (伊達市一斉 放射線量測定)	予測値 (mSv) A (国が示した計算式 からの予測値)	実測値(mSv) B (ガラスバッジ測定1年間の実測値)		
			全年齢 (図2)	0～15歳 (図3)	60歳以上 (図4)
箱崎	0.512	2.481	0.896	0.627	0.986
中川	0.513	2.486	1.050	0.765	1.141
掛田	0.590	2.891	1.166	0.937	1.183
所沢	0.594	2.912	1.550	1.118	1.685
御代田	0.622	3.059	1.293	1.119	1.230
上手渡	0.622	3.059	1.248	0.800	1.304
石田	0.635	3.127	1.302	0.781	1.411
下手渡	0.639	3.148	1.323	0.928	1.400
山戸田	0.640	3.154	1.242	0.955	1.299
柱田	0.655	3.232	1.339	1.007	1.448
布川	0.661	3.264	1.233	1.048	1.316
糠田	0.834	4.173	1.433	1.135	1.467
月舘	0.862	4.320	1.234	0.879	1.296
高成田	0.866	4.341	1.916	1.585	1.926
富沢	0.924	4.646	2.368	1.457	2.516
上小国	1.057	5.345	1.996	1.151	2.166
下小国	1.071	5.419	1.893	0.808	2.118
全体	0.510	2.470	0.888	0.797	1.150

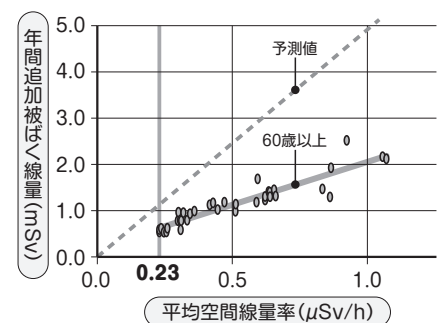
●図2: 空間線量率と年間追加被ばく線量との相関(全年齢)



●図3: 空間線量率と年間追加被ばく線量との相関(0～15歳)



●図4: 空間線量率と年間追加被ばく線量との相関(60歳以上)



内部被ばくの現状 (2年8ヶ月経った今、実測から言えること)

市では、現在2巡目の内部被ばく検査を実施していますが、昨年度の検査結果の概要と今後の見通しについて、福島県立医科大学放射線健康管理学講座助手の宮崎 真さんに解説していただきました。

伊達市におけるホールボディカウンタ(WBC)による内部被ばく検査は、昨年度、市内2医療機関と福島市の検査機関で全市民対象に実施し、検査に行かれた方も多いかと存じます。一方で、送付された検査結果について、数値が示す意味をなかなか理解しにくい現実があることは、大きな課題であると考えています。検査を続けていく意義、自分が受けた検査の結果に関する疑問などを、丁寧に説明・解説する機会を拡げていくことは必要です。

今回は、昨年度に行われた伊達市におけるWBC検査結果の概要と、その結果に基づく今後への見通しについて、個人的な考えも含め意見を述べさせていただきます。

平成24年度は、地区別に成人の方の検査が始まり、年度末までに約3万4千人が受検しています。数字としてセシウムが検出された方の割合は約9.8パーセントで、およそ3万人の方は検出限界未満でした。

現在多く行われているWBC検査における「検出限界」は、成人の場合放射性セシウムを(134、137おのおの)少なくとも1日平均約2ベクレル、1年間食べ続けることで超え、実際の数値が出てきます。つまり、9.8パーセントの方は、それを

●セシウム残存量と日常摂取量の目安：成人の場合

核種	1日摂取量	体内残存量 (核種別 合計)	年間実効線量
セシウム 134	3.5 ベクレル	430 ベクレル	1,350 ベクレル
セシウム 137	6.5 ベクレル	920 ベクレル	
			0.055 ミリ シーベルト

※1日10ベクレルを摂取するものと想定した場合

※セシウム134と137のベクレル比は初期を1:1として現在の存在比に近似

超えて日常的に数ベクレルの摂取がある可能性があります。数値として検出された方のほとんどは、セシウム134、137を合算しても、1日摂取量にして5ベクレル以下でした。ちなみに、成人の方が、1日摂取量としてセシウム134、137合算で10ベクレル食べ続けた際に、WBCで検出される体内量はおよそ1350ベクレルで一定となります。この場合、1年間食べ続けた結果の内部被ばく線量は、およそ0.055ミリシーベルトになります。

さて、私はこの結果を受けて「摂取量が少ない」「線量が低い」→「だから大丈夫」と言いたいものではありません。ここからは、実際に数値が出た方がどのような食生活をしていたのか、この結果を各人がどう考えればいいのか、疑問に答えていくなど個別に対応していく必要がある、と感じています。

また、本年度伊達市で実施されている2回目のWBC検査において、1回目の結果からどう変化しているのかをひとりひとり個別に考えていくことが大変重要です。前回数値が出て、その後ほとんど食べていない人は、数値の減少または検出限界未満への移行が確認できるはず。逆に増えた場合は、食行動の変化があったかを丁寧に聞き取る作業を要します。

最終的に、伊達市は個人の外部被ばく線量や内部被ばく線量などを、各個人で統一的に扱い、今後の生活に役立てて頂くことを目指している、と聞いています。私は、その一助となれるよう、さらにWBC検査結果を詳細に検討し、本年度については各個人の状況まで踏み込んでご説明が出来るよう、市と協力していく所存です。

福島県立医科大学 放射線健康管理学講座助手
宮崎 真

☎健康福祉部 健康推進課 ☎575-1116

原子力損害賠償関連の巡回法律相談

福島県では、福島県弁護士会と連携し、弁護士による法律相談を実施しています。賠償請求手続きにおける不明な点などお気軽にご相談ください。なお、事前予約制となっていますので、下記までご連絡ください。

- 相談時間：30分(13:30～15:50の間に実施)
- 相談料：無料
- 事前予約電話番号：523-1501
受付時間：8:30～5:15(平日)

●実施場所・日程

実施市町村	実施日	実施会場・所在地
伊達市	12月 4日(水)	福島県伊達合同庁舎 1階会議室 伊達市保原町大泉字大地内124番地
福島市	12月18日(水)	福島県青少年会館 1階第6研修室 福島市黒岩字田部屋53-5
二本松市	12月11日(水)	福島県二本松合同庁舎 2階会議室 二本松市金色424番地の1

※他の会場については、本庁・各総合支所窓口にあるチラシをご覧ください。

☎市民生活部 市民生活課 ☎575-1126

仮置き場線量測定結果のお知らせ

市では、生活圏除染作業に伴い作り設置した仮置き場について、除染ガイドラインに基づき安全を確認するため、週1回入り口付近でモニタリングを行っています。その測定結果について、お知らせします。

- ①空間線量率に大きな変動は見られません。
- ②一部に0.5マイクロシーベルを超える場所がありますが、これは、山林など周囲からの影響によるものです。
- ③管理用マスに水がたまっている箇所がありましたが、放射性物質は検出されませんでした。

以上のことから除去物の集積による、空間線量率への影響はなく、仮置き場の安全は確保されていると考えます。

A エリア		放射線測定値(単位:マイクロシーベルト/時間)			
地区	仮置き場名称	11月第3週 (11/11の週)	10月最終週 (10/28の週)	9月最終週 (9/23の週)	
小国	下小国(国事業)	0.50	0.51	0.54	
	松ノ口地区	0.76	0.69	0.78	
	山下地区	0.68	0.69	0.74	
	小国東地区	0.63	0.60	0.68	
	中島地区	0.41	0.38	0.41	
	西組地区	0.58	0.55	0.55	
	本組地区	0.82	0.82	0.90	
	中組茶畑地区	0.70	0.69	0.68	
	中組三保地区	0.49	0.47	0.48	
	中組竹ノ内地区	0.35	0.34	0.33	
	中組大木地区	0.40	0.39	0.38	
	上組天井地区	0.40	0.41	0.43	
	上組上北地区	0.28	0.28	0.29	
上組山上地区	0.35	0.33	0.33		
掛田	日向前地区	0.33	0.32	0.36	
	舘地区	0.30	0.29	0.32	
	西陣場地区	0.54	0.53	0.55	
	谷津地区	0.32	0.30	0.38	
	朝草口地区	0.35	0.35	0.38	
	田沢地区	0.31	0.31	0.31	
	猫塚地区	0.37	0.37	0.51	
	北町地区	0.21	0.19	0.22	
	平地区	0.21	0.19	0.28	
柱沢	高野地区	0.30	0.30	0.32	
	中森上ノ寺地区	0.22	0.21	0.20	
	日向山土橋地区	0.20	0.21	0.30	
	滝ノ沢地区	0.36	0.36	0.38	
	四十九院地区	0.41	0.43	0.41	
	根子屋地区	0.33	0.32	0.33	
	新井山地区	0.26	0.27	0.25	
	四ツ橋地区	0.35	0.34	0.33	
	東田地区	0.23	0.22	0.24	
	台兎山地区	0.21	0.20	0.19	
	富成	富成第1区	0.56	0.57	0.60
		富成第2区	0.47	0.48	0.47
		富成第3区	0.36	0.35	0.44
富成第4区		0.37	0.37	0.44	
富成第5区		0.24	0.25	0.27	
富成第6・18区		0.63	0.59	0.61	
富成第7～11区		0.38	0.36	0.36	
富成第12・17区		0.42	0.38	0.45	
富成第13区		0.59	0.58	0.61	
富成第14区		0.28	0.29	0.29	
富成第15・16区	0.41	0.41	0.41		

A エリア		放射線測定値(単位:マイクロシーベルト/時間)		
地区	仮置き場名称	11月第3週 (11/11の週)	10月最終週 (10/28の週)	9月最終週 (9/23の週)
月舘東部	月舘7-1番組	0.24	0.24	0.25
	月舘7-2番組	0.29	0.29	0.32
	布川5番組	0.23	0.22	0.21
	布川6番組	0.14	0.16	0.18
石田東部	坂ノ上地区	0.61	0.59	0.62
	八木平地区	0.26	0.29	0.32

B エリア		放射線測定値(単位:マイクロシーベルト/時間)		
地区	仮置き場名称	11月第3週 (11/11の週)	10月最終週 (10/28の週)	9月最終週 (9/23の週)
糠田	糠田地区	0.28	0.26	0.29
山野川	山野川地区	0.22	0.23	0.22
中川	中川地区	0.28	0.28	0.27
山戸田	引地地区	0.18	0.19	0.20
	宮下地区	0.21	0.20	0.20
	山戸田東地区	0.25	0.25	0.25
	竹ノ内地区	0.20	0.19	0.19
	土関地区	0.32	0.29	0.33
御代田	御代田2番組	0.58	0.56	0.63
	御代田3番組	0.54	0.53	0.47
	御代田1番組	0.30	0.28	0.32
	御代田5番組	0.29	0.29	0.30
布川	布川2番組	0.32	0.32	0.32
	布川3番組	0.22	0.22	0.22
	布川4番組	0.25	0.24	0.25
上手渡	上手渡1・2番組	0.31	0.30	0.31
	上手渡3番組	0.37	0.38	0.38
下手渡	下手渡地区	0.20	0.24	0.22
月舘	月舘4番組・清水ヶ丘	0.27	0.25	0.26
	月舘5番組	0.22	0.22	0.25
保原	村岡地区	0.17	0.17	0.14
	八幡台地区	0.23	0.23	0.24

C エリア		放射線測定値(単位:マイクロシーベルト/時間)		
地区	仮置き場名称	11月第3週 (11/11の週)	10月最終週 (10/28の週)	9月最終週 (9/23の週)
梁川	梁川総合支所	0.20	0.20	0.20

※ 仮置き場入り口(仮囲い外側)の1メートルの高さでの空間線量率の測定結果です。

生活圏除染業務の進捗について

(11月12日現在)

B エリア

- [仮置き場]
●:確保済
[除染作業]
●:終了
▲:作業中
△:準備中

中川、山戸田1、山野川、月舘、御代田1、御代田2、御代田3、糠田、布川1、上手渡、下手渡、八幡台・村岡工区はすべての除染業務が完了しました。

地域	地区	世帯数	仮置き場	除染作業		
				宅地	道路	公共施設
霊山	山戸田(2工区)	42	●	▲	△	▲
	石田(1工区)	120		●	▲	●
	石田(2工区)	120	●	▲	▲	▲
	石田(3工区)	79		●	●	●
月舘	御代田(4工区)	62	●	▲	△	●
	布川(2工区)	63	●	●	▲	●
保原	上保原(1工区)	173	●	▲	△	△
	上保原(2工区)	531		▲	△	△
	上保原(3工区)	420	●	▲	▲	△
	上保原(4工区)	446		▲	△	△
計		2,126				

C エリア

- [作業進捗・道路側溝除染作業]
●:終了
▲:作業中
△:準備中

地域	地区	世帯数	2次モニタリング・ホットスポット除染作業		道路側溝除染作業
			同意書提出世帯数(※1)	作業進捗(※2)	
伊達	伊達	2,641	2,170	▲	△
	箱崎	421	417	▲	△
	伏黒	599	574	●	△
梁川	梁川	2,794	1,994	●	△
	栗野	666	600	●	△
	堰本	906	841	●	△
	白根	242	223	●	△
	山舟生	274	260	●	△
	富野	404	351	●	△
	五十沢	295	272	●	△
	東大枝	200	189	●	△
保原	大田	1,033	975	●	△
	保原	4,123	2,966	●	△
霊山	大石	376	369	▲	△
	泉原	151	149	●	△
計		15,125	12,350		

※1 同意書提出世帯とは、作業を申込みまたは辞退する旨の同意書が提出され世帯
※2 作業進捗とは、作業を申し込んだ世帯の進捗状況

A エリア

すべての除染業務が終了しました。

問 市民生活部 放射能対策課 ☎575-1003

市内各地域の放射線測定結果

放射線測定値(市測定、※印は国測定) (単位:マイクロシーベルト/時間)

測定地点	11/20	11/9	10/28
伊達総合支所 正面駐車場	0.22	0.22	0.22
梁川総合支所 正面銅像前	0.18	0.19	0.19
保原本庁舎 正面駐車場※	0.30	0.30	0.29
富成郵便局 県道路肩	0.25	0.27	0.27
富成沼田地区石名坂 屯所入口県道路肩	0.67	0.66	0.64
富成グリーンタウン タウン内公園	0.40	0.41	0.41
富成十区集会所 入口	0.69	0.73	0.71
霊山総合支所 駐車場	0.27	0.26	0.26
霊山パーキング 駐車場中央※	0.34	0.34	0.34
坂ノ上集会所 入口	0.48	0.45	0.46
八木平バス停留所 回転場中央	0.35	0.32	0.34
小国ふれあいセンター 駐車場※	0.39	0.38	0.38

測定地点	11/20	11/9	10/28
下小国中央集会所 入口※	0.41	0.40	0.40
岩代小国郵便局 国道路肩	0.29	0.29	0.28
末坂バス停留所 県道路肩	0.52	0.55	0.54
大木バス停留所 県道路肩	0.26	0.24	0.25
月舘総合支所 駐車場	0.19	0.19	0.19
国道399号飯舘村境 国道路肩	0.63	0.63	0.59
月舘相葎公民館 県道路肩	0.66	0.65	0.63
掛田上組集会所 市道路肩	0.40	0.39	0.38
掛田日向前団地 集会所前	0.33	0.36	0.34
県道白石月舘線飯舘村境 県道路肩	1.63	1.62	1.50
大柳字栴窪 市道路肩	0.57	0.63	0.58

問 市民生活部 環境防災課 ☎575-1228